

南極オーロラ実感

国立極地研究所(東京都立川市)に24日、「南極・北極科学館」がオープンした。南極で見つかった月や火星の隕石などが公開されている。なかでもオーロラ写真を動画にした「オーロラシアター」^{II}写真、山本裕之撮影^{II}が人気を集めそうだ。

直径4mのドーム形スクリーンで、天頂から緑がかつた光が降り注ぐ。CG加工ではない。オーロラを研究する宮岡宏・極地研准教授と、システム開発会社「まえちゃんねつ」と社長の前嶋美紀さんが数百枚の静止画を重ねてつくった。

南極では、360度撮れる魚眼レ

極地研科学館 静止画重ね映像化

上映する5分の映像は2003年5月、内陸のドームふじ基地で観測した貴重なコロナ状オーロラだ。 「全天ドームで一年中オーロラを見られるのは、全国唯一」と宮岡さん。来月は昭和基地で撮ったオーロラを上映する。開館は午前10時~午後5時、入場無料。日・祝・月と年末始は休館。

(中山由美)

